

## 平成25年繁殖計画(案)

## 1. ペア形成の考え方

- ・繁殖成績の不良で、ペアの相性又は雄雌どちらかの個体に問題があると考えられるペアは解消し、共祖係数及び平均共祖係数を参考にしつつ、新規ペアを形成する。
- ・分散飼育地における飼育個体の遺伝的多様性を確保するために、ホアヤン、イーシューイの子や孫を含む新規ペア又は既存のペアを提供する。

## 2. ペアごとの繁殖方針

## (1) ファウンダーペア

- ・繁殖ペアの候補となる個体育成を第一の目的とする。
- ・第一クラッチは人工孵化、人工育雛。産卵状況により第2クラッチは自然孵化、自然育雛に取組む(全部または一部)。

## (2) 上記以外のペア

- ・放鳥個体の育成を目的として、放鳥後にペアを形成しやすい自然孵化・自然育雛を原則とすることを徹底する。ただし、自然孵化・自然育雛個体を確保するために人工孵化を活用する場合はこの限りではない。また、親が卵を放棄する場合などは、人工孵化も検討し、孵化後はできるだけ早く自然育雛に切り替える。
- ・計画繁殖外ペアについては、自然繁殖に成功した場合、親鳥を巣立ちした若鳥とともに野外放鳥することを検討する。

## 解消

ペア	飼育場所	♂	♀	24年繁殖成績					備考	
				産卵	孵化 <sup>破卵(有精)</sup>	中止	無精	不明		
M	ステーション	80B	36A	6	2(人工)	2	0	0	2	♂の♀へのはげしい攻撃
R	センター	82B	154β	3	2(人工)	0	0	1	0	♂の♀への攻撃
X	いしかわ動物園	88A	139B	8	2(人1,自1)	0	0	6	0	♂の♀へのはげしい攻撃
計画繁殖外へ	センター	59C	76E	2	0	0	0	2	0	
計画繁殖外ホ	多摩動物公園	208G	216K	3	0	0	0	1	1	

## 新規

ペア	飼育場所	♂	♀	共祖係数	備考
AP	ステーション	238Y	36A	0.125	
AQ	センター	260B	154β	0	ファウンダー系統
AR	長岡市	283Z	341R	0.0781	
AS	ステーション	302W	290Y	0.1406	親子で放鳥予定
AT	多摩動物公園	316Y	345R	0.0781	
AU	いしかわ動物園	333AG	139B	0.125	

.....新規繁殖個体

## 飼育地間移動

ペア	飼育場所	♂	♀	24年繁殖成績					異動先	共祖係数	
				産卵	孵化 <sup>破卵(有精)</sup>	中止	無精	不明			
AK	センター	178B	269Q	4	0	0	0	4	0	出雲市	0.0625
AO	ステーション	35B	241Y	3	0	0	0	2	1	佐渡市	0.1563
ト	ステーション	296N	235P	8	0	0	0	3	5	佐渡市	0.1875

### 3. 佐渡市トキふれあい施設への個体の移送について

佐渡市トキふれあい施設では、4月の正式オープンに向け、現在クロトキ等の近縁種6羽を飼育し、プレオープンを行いつつ施設状態や飼育体制の検証を行っているが、飼育環境に慣らすために1月中旬を目処にトキを移送する。

移送個体は、当初、最初は雌雄いずれかのみとし、管理体制を整えた上で雌雄両方を飼育する予定であったが、以下の方針により、平成24年に野生復帰ステーション繁殖ケージで繁殖に取り組んだ2ペア・計4羽を移送することとした。

- ・ネットへの衝突事故を回避するため、最初の移送個体は人にかなり慣れた個体\*とする
- \*育雛期から人に慣らしたペア1組と、ケージ前を毎日車両が通行し、車両や人に慣れたペア1組で、相手が入れ替わっても共祖係数に問題は生じない。(35♂×235♀→0.1875、296♂×241♀→0.1406)
- ・自然繁殖を徹底し、原則として人工繁殖への移行は行わない
- ・隣接するトキ保護センターが、必要に応じて迅速に飼育管理のサポートを行う

### 4. 増加見込み羽数

- ・ファウンダーペア  
AA(♂ヨウヨウ)、AH(♂ホアヤン)、AQ(♀イーシューイ)、B(♀メイメイ)……4(ペア)×2=8羽
- ・センター  
E、F、AI、AM、AN ……5(ペア)×1=5羽
- ・ステーション  
P、T、U、AE、AG、AP、AS ……7(ペア)×1.5=10.5羽
- ・多摩動物公園  
K、Z、AD、AT ……4(ペア)×1.5(羽)=6羽
- ・いしかわ動物園  
I、AU ……2(ペア)×1.5(羽)=3羽
- ・出雲市  
N、AF、AK ……3(ペア)×1.5(羽)=4.5羽
- ・長岡市  
Y、AL、AR ……3(ペア)×1.5(羽)=4.5羽

※平成25年の増加見込み羽数は28ペアから41.5羽(平成24年実績は29ペアから50羽)。うち33.5羽が放鳥予定個体。

※飼育中の放鳥予定個体は平成23年生れが32羽、平成24年生れが39羽。

※平成26年まで、毎年40羽以上の放鳥も可能。

(参考)自然孵化の状況

センター(繁殖形態:人工+自然)ファウンダーペアを除く				
年	ペア数	自然孵化数	後期破卵数	ペア当り自然孵化数
2006	8	18	4	2.25
2007	10	15	8	1.50
2008	6	4	9	0.67
2009	6	4	6	0.67
2010	3	0	0	0.00
2011	4	3	1	0.75
2012	6	3	5	0.50
合計	43	47	33	1.09

ステーション(繁殖形態:自然)				
年	ペア数	自然孵化数	後期破卵数	ペア当り自然孵化数
2008	3	4	2	1.33
2009	5	6	2	1.20
2010	6	10	5	1.67
2011	6	7	7	1.17
2012	6	11	8	1.83
合計	26	38	24	1.46

## トキ飼育繁殖の状況等

## 1. 前回の小委員会（平成24年9月5日）以降の経過

平成24年9月27日 定期健康診断。  
 同年9月28日 第7回放鳥開始。  
 同年10月1日 第7回放鳥終了(17羽放鳥)。  
 同年10月15～31日 トキふれあい施設職員2名の研修受け入れ  
 同年10月17日 センターでチアミン欠乏症状を再発した1羽(No.344)を保護。  
 同年10月26日 順化ケージ衝突防止ネットについて業者と協議。

## 2. 飼育・繁殖状況（平成24年11月5日現在）

飼育・繁殖場所	成鳥(羽)	H24生(羽)	合計(羽)
佐渡トキ保護センター	91	17	108
野生復帰ステーション	16	10	26
うち順化ケージ	0	0	0
繁殖ケージ	16	10	26
多摩動物公園	9	4	13
いしかわ動物園	8	6	14
出雲市トキ分散飼育センター	4	4	8
長岡市トキ分散飼育センター	4	9	13
計	132	50	182

## 3. 繁殖結果

前回の小委員会(9/5)の段階で全ペアの産卵、孵化、巣立ちが終了しており、その後成育数に変化はない。

全29ペア（計画外3ペア含む）から160個の産卵があり、86個が有精卵、60羽（自然孵化：24羽、人工孵化：36羽）が孵化した。うち50羽が成育している。

なお、成育個体50羽の性別は、♂7羽、♀9羽、未判定34羽となっている。

死亡個体、発育中止および破卵した有精卵を含めると全86個体中、♂13羽、♀21羽、未判定52羽となる。